

手話奉仕員養成講座 受講者募集

聴覚障害がある方の社会参加を促進し、コミュニケーション支援の充実を図るため「手話奉仕員」の養成講座を開催します。

主催 安芸高田市

時 2025年6月～
2026年2月(全20回)
土曜日(月2～3回)
9:30～11:30

※開講式:6月14日(土)

所 クリスタルアージュ

対象 本市に在住、または在勤の方
(経験不問)

定員 20人程度

料 初めての方のみテキスト代3,300円

申込期限 6月5日(木)

申 問 社会福祉法人 清風会

☎ 43-0611

☎ 43-0180

公用車を売却します

市が所有する公用車を一般競争入札で売却します。

出品 公用車4台

※変更する場合があります。



参加申込期間

6月6日(金)～23日(月)

入札期間

7月8日(火)～15日(火)

■オークションサイト
KSI 官公庁オークション
(紀尾井町戦略研究所
株式会社提供)



■市ホームページ
「インターネット公有財産売却のお知らせ」
※6月6日(金)から掲載します。

問 財産管理課 管理・営繕係

☎・お太助フォン 42-5613

☎ 42-4376



三次市職業訓練センター 6月開講講座受講生募集

■パソコン講座

- スキルアップWord実践コース
- Word&Excel応用コース
- Word応用コース

■一般職業訓練講座

- 刈払機講習(土曜日コース)
- 一般事務・基礎講座
- ファイナンシャルプランナー3級

詳細は下記ホームページを確認してください。

「三次市職業訓練センター」
ホームページ



申 問 三次市職業訓練センター

☎・☎ 0824-62-8500

国民年金のあれこれ

ちょっと増やせる付加年金

付加年金制度

毎月の国民年金保険料に付加保険料を上乗せして納めることで、受給する年金額を増やすことができる制度

A 支払額

付加保険料 = 400円/月

↑ 毎月支払う保険料に上乗せする額

B 受給額

付加年金額 = 200円 × 付加保険料を納めた月数

↑ 年間の年金支給額に上乗せされる額

(例)
5年間 付加保険料を納めた場合

A 支払った額(元金)

5年間 (納付額
400円 × 60か月 = 24,000円)

〈対象〉・国民年金第1号被保険者(自営業者など)
・国民年金の任意加入者
・半額免除など保険料を免除されていない方
・国民年金基金に加入していない方

B 受給できる額

年金受給	受給金額
1年目	12,000円
2年目	12,000円 (累計 24,000円)
3年目	12,000円 (累計 36,000円)
4年目	12,000円 (累計 48,000円)
⋮	

2年目以降から
元金以上の
金額を受給

〈 納付をやめても掛け捨てになりません 〉 納付期限は翌月末日(休日・祝日の場合は翌営業日)です。付加保険料を納付している方は、いつでも任意のときに申し出て、その納付をやめることができますが、その場合でも掛け捨てにはなりません。

詳しくは 日本年金機構ホームページ



問三次年金事務所 ☎0824-62-3107



古吹城遠望(北から撮影)

安芸高田 歴史紀行

あきたがた
れきしきこう



歴史民俗博物館
副館長
秋本 哲治

シリーズお城拝見 | 第96回

古吹城と鷹山銅山

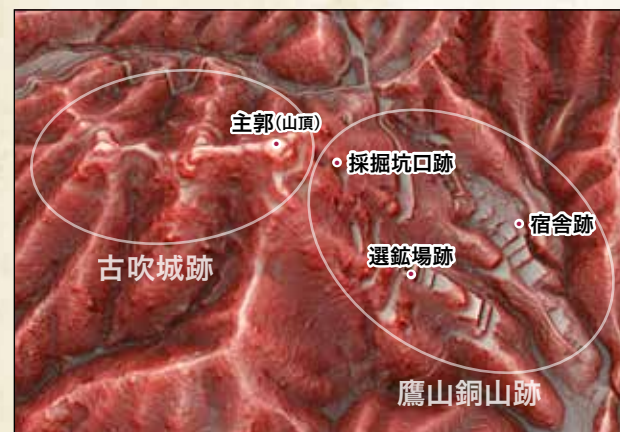
(向原町有留)



古吹城跡位置図(地理院地図Vectorに加筆)

謎に満ちた古吹城
中世の有富(有留)の領主、有富氏の山城と言われているのが、標高560mの高所に残る古吹城です。集落と隔絶した山奥に立地し、東西150m、南北300mの有留保垣で最大規模の山城です。この城の歴史が分かる中世の史料はなく、謎に満ちています。全体的に尾根上はよく整地されており、山頂部の周囲には石垣が残っています。城の遺構・規模からは、有富氏よりも毛利氏の重臣として知られる志道氏(戦国期に有富に在住)の関与が推測できます。

鷹山銅山
古吹城の南の斜面に残る広大な遺構が、鷹山銅山跡です。本市最大の鉱山として、その歴史は江戸時代中ごろにさかのぼります。その後、明治期にさまざまな経営者によつて採掘が進められましたが、本格的な採掘は鉱山整備令が施行された1943(昭和18)年からで、昼夜を問わず終戦まで操業が続けられました。最盛期には地元住民や朝鮮半島からの労働者も含めて、約千人が従事したといわれています。



古吹城跡・鷹山銅山跡赤色立体地図鳥瞰図(西から)

開催中
戦争 安芸高田と
戦後80年記念企画展
歴史民俗博物館春季企画展
会期 6.30 まで

銅山の遺構
上記の鳥瞰図のとおり、現在でも銅山跡の名残を留める遺構が広範囲に残ります。特に急斜面に構築された階段状の選鉱場(採掘した鉱石を選別する場所)の基礎は特徴的です(写真参照)。その他にも、採掘坑口の跡や労働者の宿舍跡など一帯にはさまざまな痕跡が残ります。これらは、戦時下の緊迫した状況を伝える近代遺産といえます。



鷹山銅山操業時の記念写真(南から撮影)※個人蔵

4月号で紹介した向原町の有留・保垣地区の城跡群の内、南端に位置するのが古吹城です(2011年5月号に掲載)。今年は戦後80年であり、今回はこの城の南斜面に残り戦時下を伝える近代遺産を紹介します。